

# 新山教授講義の続き

## Ⅱ 食品の安全確保の思想が高度化

- ・「農場から食卓まで」統合的な管理が求められる時代

フードチェーンを構成するある段階で事故が起きたら、全てに影響

\* 食品の安全確保とはリスクを社会的に許容可能な水準に制御すること

## Ⅲ ISO22005(食品トレーサビリティ規格)が2007年4月成立

- ・企業間の国際的な取引で、食品のトレーサビリティを要求することが正当化された

\* 日本の規格「食品トレーサビリティの要件」では、「対応づけ」を補強

## Ⅳ 食品トレーサビリティ

- ① トレーサビリティは、食品の追跡システム

- ・「分別、識別」管理が基本
- ・ 前提・「生産履歴情報の記録・提供」

- ② 目的

- ・食品の安全性向上への寄与(消費者の被害を最小限に食い止める)
- ・情報の信頼性の向上